経済同友会 つながる▶▶▶

RELAY TALK #252

紹介者
網谷勝彦
日本コンクリート工業
取締役会長

江川 健太郎
日本電設工業
取締役会長

オリパラの成功を!!

1964年、ビートルズはアメリカへ進出して「抱きしめたい」などのヒットを連発し、日本でも社会現象といわれるほどの大人気となりました。２年後の1966年にはビートルズが来日し、当時高校１年生であった私は同級生と公演会場の日本武道館へ行きましたが、OLや女子大生など「お姉さま」たちの絶叫で演奏はほとんど聞こえませんでした。

1964年は前回の東京オリンピック・パラリンピックが開催された年でもありました。この年に東海道新幹線が開通し、首都高速道路が整備され、国際水準のホテルも建設が進み、多くの日本人が戦後の復興を実感したといわれています。

「ビートルズ」と「オリンピック」、この二つは当時を象徴する思い出となっています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会もいよいよ来年に迫ってきました。前回に比べ日本は豊かになり道路や鉄道網などの整備も進んでいますが、同時に開催地の東京は経済規模や交通量が格段に大きくなっています。参加選手や訪れる外国人の数も大幅に増える見込みで、例えばパラリンピックでは前回は９競技、378人の参加でしたが、今回は22競技、最大で4,400人の参加が見込まれるということです。しかし、選手の輸送などに使う予定だった環状２号線は、豊洲市場移転問題の余波で残念ながら暫定開通となる予定です。地球温暖化や東京のヒートアイランド化による酷暑も懸念されています。

前回の東京オリンピックでは、大会成功を目指して国を挙げて念入りに準備を行ったという話を聞いています。例えば、表彰式などで掲揚する国旗ですが、参加国にサンプルを何回も送って色彩や形状を念入りに確認し、素材についても工夫するなど周到な準備によって参加国に感銘を与えたという逸話を聞きました。

来年の開催に向けて組織委員会を中心に関係の皆さまが万全な準備を進めていることと思いますが、誘致のキーワードとなった「おもてなし」でオリパラを成功させ、「東京」の魅力が世界に向けて存分に発信されることを心から期待しています。

▶▶次回リレートーク

鈴木 正俊
ミライト
取締役会長